

広報ひだ

7月

2026年 No.270



プロ特集

変わる時代に、変わらない日常を守り抜く。プロフェッショナルなごみ収集員

特集

これまで燃やしていたプラスチックが価値ある資源へ



変わる時代に、変わらない日常を守り抜く。 プロフェッショナルなごみ収集員

朝になればごみ収集車がごみステーションの前に停まり、収集員がテキパキと積み込みを行って颯爽と走り去っていく。手を振る子どもたちに応える姿も、地域では見慣れた光景です。そんな日常は、雪の日も猛暑の日も「当たり前」の維持に努める人たちに支えられています。

株式会社神岡衛生社の清水直樹さん(ごみ収集歴22年、写真右)と、有限会社吉城環境管理センターの端場政美さん(同17年、写真左)に、ごみ収集の仕事にける思いを伺いました。

ごみだけ見てられない、収集の仕事

——ごみの収集は何人で行っているのですか？



端場
さん

およそ8名体制です。可燃ごみの収集車は3台あり、古川町を2台4名で担当し、宮川町と河合町は1台2名体制で交互に回ります。加えて、ペットボトルや缶などを回収する車両が1台あります。



清水
さん

神岡町では可燃ごみの収集車が2台あり、不燃ごみの収集日には最大4台が稼働します。

——少人数で広いエリアを担当されているのですね。1日の収集はどのような流れで進むのでしょうか？



端場
さん

朝礼後に車両点検を行い、8時半には収集を開始します。午後3時半までに収集したごみの搬入を終え、その後は終礼を行って1日の業務を終えます。



清水
さん

通常の収集業務を終えた後、ご家庭を訪問して粗大ごみを回収する日もあります。地域の高齢化が進むなか、ご自身で施設に持ち込めない方も少なくありません。そうした予定や段取りも、前日の終礼で共有しています。



端場
さん

特に宮川町・河合町では、ご高齢で一人暮らしをしている方も増えています。タンス一つ処分してほしいという声もあれば、一軒丸ごと片付けてほしいという相談もありますね。

——通常の収集業務に加え、地域の困りごとにも対応されているのですね。収集現場では、どのようなことに気を配っていますか？



清水
さん

何より大切なのは、**収集員自身と市民の安全を確保**することです。道路脇に停車して作業を行うため、後方から追突される危険や、収集車を避けようとした歩行者が対向車と接触するおそれもあります。作業中は手元だけでなく周囲にも目を光らせ、見通しの悪い場所では声かけや誘導を行っています。



清水
さん

他の地域では、過去に収集員や一般市民がごみを圧縮する投入口に巻き込まれる事故も発生しています。そうした事故を決して起こさないよう、新人が入った際には**具体的な事例をととして事故につながる行動を確認**し、自分自身が怪我をしない・市民を危険にさらさないための安全教育を徹底します。

現状維持は、当たり前じゃない

——安全面に加え、日々地域を回るなかで意識していることは何ですか？



端場 さん

まずは大きな声で挨拶すること。また、ごみステーションをきれいな状態に保つことも欠かせません。最近はカラスによる被害も増えていますが、ごみが散乱していたら放置せず、その都度片付けています。



清水 さん

ネットを畳み、カゴを元の位置に戻すまでが収集員の仕事です。元通りに整えてから、次の現場へ向かいます。

——そうした心遣いが地域の日常を形づくっているのですね。一方、終わりのない仕事のようにも思えますが、お二人は何を目指し、どんな挑戦を続けているのでしょうか？



端場 さん

ごみ収集が何のために、誰のためにあるのかといえば、その答えは紛れもなく**市民の生活を守るため**です。地域を取り巻く環境が変化するなかで、その**日常をどれだけ維持できるか**。そこに向き合い続けることが私たちの挑戦であり、目指す姿です。

ある時、ごみ袋にメモが付いていました。「いつもありがとうございます」「熱中症に気を付けてください」と。こうした声に触れるたびに、自分たちが目指す姿にきちんと近付いているのだと実感します。



清水 さん

一人暮らしのご高齢者が増えるなか、個人宅を訪問して粗大ごみを回収する「ふれあい収集」の立ち上げは、**地域課題に向き合う**私たちにとって一つの挑戦でした。



小学校で環境学習の講師を務めた際に出会った当時4年生の児童が、のちに神岡衛生社へ入社してきたそう。「あの時の子が……」と感慨深い気持ちになったと話す



収集中に市民からごみの分別について質問を受けた際には、丁寧にわかりやすい対応を心がけているという。（※分別方法の確認には、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」が便利です。）



清水 さん

ごみを回収するだけでなく、おじいちゃん・おばあちゃんと顔を合わせ、様子を伺う機会にもなっています。「いつもご苦労さま」「ありがとう」——そんな言葉をかけていただけることが何よりの励みです。

憧れが生む、環境への当事者意識

——ご高齢者だけでなく、地域の子どもたちへの働きかけにも注力しているとか。



清水 さん

私たちは「環境戦隊エコレンジャー」を名乗り、保育園などで環境をテーマにしたヒーローショーを行っています。園児にとっては「レンジャーが来た」くらいの印象かもしれませんが、それをきっかけにペットボトルの捨て方一つでも行動が変わってくれたら嬉しいですね。子どもたちもまたヒーローとして、まずは自分にできることから環境を守ってほしいという思いを込めています。



端場 さん

子どもたちは次世代を担う宝です。地域の子らにとって、私たちは「誇り」あふれるヒーローとならなければならない——その思いを強く持っています。まずは身近な環境への興味を促し、「自分もやってみたい」という芽を育てる。決してなくなっちゃいけないこの仕事を未来へつなぐためにも、ちびっ子たちから憧れられる収集員であり続けます。

目の前の日常を守りながら、変化する地域に向き合い、未来の当たり前を育てていく。お二人の姿からは、地域生活の根幹を担う誇りと、守り抜く覚悟が伝わってきました。

本誌では、プラスチック類の一括回収についても特集しています。地域の環境を守る一歩を、自分の行動から始めてみませんか。



市民ライター 三代知香



これまで燃やしていたプラスチックが価値ある資源へ

4月から「100%プラ製品」も資源ごみへ

これまで、資源として出せるプラスチックはマークのついた「プラ製容器包装」だけでした。そのため、バケツやハンガーなどの「100%プラスチックでできた製品」は可燃ごみとして燃やすしかありませんでした。

しかし、この4月からはこれらも「プラスチック類」としてまとめて回収し、リサイクルできるようになりました。

実はもったいない？ 可燃ごみの中身

実は、可燃ごみの中にリサイクル可能なプラスチック資源が約13%含まれています。

さらに、今回新たに出せるようになった「プラ製品」がごみ全体の約5%含まれていることが分かります。これらをしっかり分別するだけで、市の可燃ごみを減らすことができます。

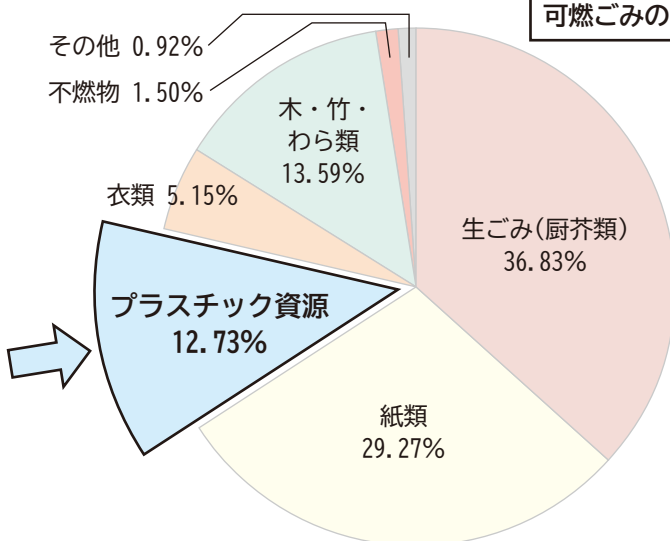
海や環境を守るため、県内でもいち早くスタート

近年、海洋プラスチックごみなどが世界的な問題となっており、国もプラ製品のリサイクルを強く推進しています。

市ではこの動きを受け、県内でもいち早く検討を進めてきました。これまでプラ製容器包装のリサイクルでお世話になってきた富山市の(株)富山環境整備と連携し、新たなリサイクルの仕組みをスタートさせます。

「どんなプラ製品なら出していいの？」と迷ってしまう方のために、次のページで実際に出せるものの例をご紹介します。

飛騨市の家庭系
可燃ごみの内訳



■全体の内訳

	ごみ質量kg	割合	想定量 t
生ごみ(厨芥類)	45.07	36.8%	1,261
紙類	35.82	29.3%	1,002
プラスチック資源	15.58	12.7%	436
衣類	6.3	5.1%	176
木・竹・わら類	16.63	13.6%	465
不燃物	1.83	1.5%	51
その他	1.13	0.9%	32
計	122.36	100.0%	3,423

■プラスチック資源の内訳

	ごみ質量kg	割合	想定量 t
ペットボトル	0.71	0.6%	20
プラ製容器包装	8.60	7.0%	241
プラ製品	6.27	5.1%	175
計	15.58	12.7%	436

それ、プラスチック資源です。 プラ100%製品はこれ!

お風呂・洗面用品



洗面器・ヘアブラシ・くし・
歯ブラシなど

文房具など



三角定規・定規・CD・
クリアファイルなど

台所用品



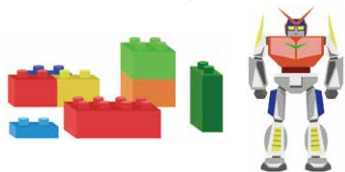
スプーン・フォーク・皿・ボウルなど

収納用品



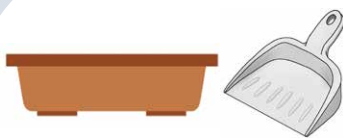
ハンガー・洗濯かご・
バケツなど

おもちゃなど



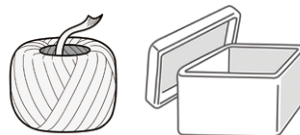
※金具類が付いていないこと

屋外用品



ちりとり・じょうろ・プランター
※泥や土は洗い落とすこと

梱包用品



発泡スチロール・包装用緩衝材・
PPバンド・ビニールひも



指定ごみ袋をしばって出すことのできない大きなものは
「粗大ゴミ」になります。

飛騨市リサイクルセンターに直接お持ち込みください。

分別・収集の現場から



飛騨市シルバー人材センター

すなだ ようこ
砂田洋子さん

■プラスチック類の一括回収で大きく
変わった点は何でしょうか？

100%プラ製品であれば一緒にして出せるようになった
ことで、家庭での分別やセンターでの仕分けが楽になった
と思います。

■市民の皆さんに特に注意していただきたいことは？

仕分けの現場では、プラ製品がスーパーの袋などにまと
めて入れてありますと、たとえ正しく分別されていたとし
ても、やはり中身を確認しないとイケないので、袋を破い
て見る必要があります。確認しやすいよう、まとめずにバ
ラして出していただけると助かります。

また、別の資源になるペットボトル、可燃ごみにするよ
うな汚れのひどいもの、50cmを超える大きなものがそのま
ま入っていることもあります。

汚れを洗って落としたり、大きなものは切るなど、分別
や出し方などについてはルールを守っていただくようお願い
します。



環境課

かわかみ ひろき
川上弘樹さん

■回収されたプラ製品の現状は？

4、5月の指定ごみ袋でのプラ製品の
回収量は、昨年同月より増えており、市民の皆さんへ徐々
に浸透していると考えています。

■プラスチック類の一括回収に期待すること

可燃ごみの中から100%プラ製品が減ることで、可燃ご
みの量および、埋め立てるしかない焼却灰の量が減ること
が想定され、未来の環境負荷の軽減につながります。また、
リサイクル可能なプラスチック資源の量が増えることで、
循環型社会の実現に近づくことを期待しています。

■分別の判断に迷った時は？

ご家庭にある「ごみ分別収集カレンダー」に、プラスチ
ック類の分別方法や出し方を記載していますのでご確認く
ださい。また、ごみ出し支援アプリ「さんあ〜」内の「分別
帳」でも、品目ごとに分別方法を確認することができます。
それでも分別に迷うときや、記載のないものの分別方法に
ついては、環境課へ直接お問い合わせください。

プラスチックは豊かな資源 リサイクルで 生まれ変わる

私たちが分別し、市によって回収された「プラスチック類」は、(株)富山環境整備へ搬入され、再資源化されます。それらは、さまざまなプラスチック製品の原料となる「ペレット」になり、私たちの身近にあるプラスチック製品に生まれ変わっています。



(株)富山環境整備 ^{あめ きょうへい} 飴恭兵さん

■飛騨市のごみ分別の印象は？

飛騨市からのプラスチック資源は、市民の皆様のご協力により、きれいで異物も少なく、リサイクルしやすい状態です。引き続きご協力をお願いします。

■プラスチック類一括回収で大きく変わった点は？

これまで可燃物として出されていた100%プラ製品もリサイクルできるようになりました。飛騨市の分別方法に沿ってきれいな状態で排出していただけるとリサイクル率の向上やリサイクル製品の高品質化につながります。適切な分別をお願いいたします。



【プラスチック類の資源化の流れ】



プラスチックのボール(圧縮した塊)をほぐして細かく破碎します。



専用機械によってプラスチックを素材ごとに自動で選別します。

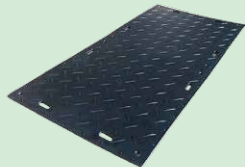


さらに細かく碎き、プラスチックを洗浄します。



プラスチック資源から生まれた製品

うちわ



プラスチック原材料が完成しました。この後、様々な製品に生まれ変わります。



プラスチックを小さい粒(ペレット)状に加工します。

リサイクルに関する皆さんの声を聞かせてください！

日ごろのごみ出しでお困りごとはありませんか？
市では、市民の皆さんが無理なくスムーズにリサイクルに取り組める環境づくりを進めています。
そのために、日々の生活の中で「この分別が面倒…」、「ルールが分かりにくい」といった、皆さんの率直な本音をお聞かせください。
集まった声をもとに、分かりやすい案内や、ごみ減量化の仕組みづくりに活かしていきます。

アンケートは約5分(最大13問)で終わる内容です。
下コードからお気軽にご回答をお願いします。
皆さんの貴重なご意見をお待ちしております。



問 環境課 ☎ 0577-73-7482

回答フォーム

その親切、ちょっと待って！ ごみの「身代わり運搬」は法律違反です！

親切心からであっても、市の許可なく他人のごみをクリーンセンターやリサイクルセンターへ持ち込むことは、違法(無許可の廃棄物運搬)となり、5年以下の拘禁刑や1,000万円以下の罰金が科されることがあります。
よかれと思った行動が思わぬトラブルを招かないよう、ご注意ください。

■地域の「ごみ出しお手伝い」は大丈夫？

ごみ出しが困難な方に代わって、地区のごみステーションまでごみを持っていくサポートは、許可が不要です。身近な助け合いは安心して続けてください。



問 環境課 ☎ 0577-73-7482

高齢者は特に注意！ 熱中症に気をつけましょう

熱中症とは、体内の水分や塩分のバランスが崩れることで体温調整機能がうまく働かず、体に熱がこもった状態です。特に、高齢者は「暑さや水分不足を感じにくい」「暑さに対する体の調整機能が低下している」などのため、注意が必要です。熱中症にならないように、次のことを取り入れましょう。

■のどが渇く前に水分摂取

のどの渇きを感じなくても、水または麦茶で1口、2口「こまめに」水分摂取しましょう。
※ただし心臓や腎臓の悪い方など、水分摂取に制限がある方はかかりつけ医にご相談ください

■規則正しい食事と睡眠

1日に3回バランスよく食べることで、食事からも約1000ccの水分が摂れます。食欲がない時は、より意識して水分摂取しましょう。また、睡眠で疲労回復をしましょう。

■外出は涼しい時間帯に

田畑での作業、草取りなどの屋外活動は「涼しい時間」を選びましょう。
外出時は水分補給用の飲料を持って出かけましょう。

■上手に冷房を使用しましょう

暑い時は、我慢しないで冷房を使うように周りの方も声をかけましょう。



問 地域包括ケア課 ☎ 0577-73-6233

公開型GISサービス「ひだマップ」をご活用ください

インターネットを利用した、公開型GISサービス「ひだマップ」を提供しています。

■GIS(地理情報システム)

位置に関するさまざまな情報を持ったデータの加工・管理や、地図の作成や高度な分析などを行うシステム技術の総称です。市では、地番現況図や航空写真、山林地番図を公開しています。

※地番現況図とは、法務局で備え付けられている公図などをもとに、土地のおおよその形状や場所を表した図面であり、公図に似たものです

これまで、地番現況図や航空写真の閲覧や写しを取得するためには市役所窓口へお越しいただく必要がありましたが、市ホームページからアクセスすることで、24時間いつでも地番現況図等を閲覧することが可能となりました。

なお、紙での取得を希望されるケースにも引き続き対応するため、窓口での交付業務は継続しています。

■イメージ



■URL

<https://www.city.hida.gifu.jp//soshiki/6/79485.html>



詳細ページ

■今年度中に航空写真を更新します

今年度中に飛騨市航空写真撮影業務を行います。現在は令和3年度に撮影した航空写真を掲載していますが、本業務が完了すれば新しい航空写真をご確認いただけます。

なお、航空写真の撮影は令和8年秋ごろに行い、ひだマップへの掲載は令和9年3月を予定しています。

問 税務課

☎ 0577-73-3742

問 林業振興課

☎ 0577-62-8905

今年も「まるごと食堂」開催!! 地元の「旬」を味わい尽くそう

農家と飲食店がコラボし、期間限定の特別メニューを提供する「飛騨市まるごと食堂」を開催します。

また、「飛騨産直市そやな」をはじめとする市内農産物直売所3店舗や、まるごと食堂参加飲食店などをまわって豪華賞品が当たるスタンプラリーも開催します。

この機会に飛騨の「おいしい」がぎゅっと詰まった、逸品をご堪能ください。

■開催期間 8月1日(土)～9月30日(水)

※期間中、さまざまなイベントを予定しています。詳細は下コードからご確認ください



問 食のまちづくり推進課 ☎0577-62-9010 詳細ページ

吉田常蓮寺で「太子踊り」

神岡町吉田の常蓮寺で伝統の「太子踊り」が開催されます。

「太子踊り」は、常蓮寺に安置されている聖徳太子像の奉還を祝った住民による喜びの踊りで、手を大きく振って常に肩より高く上げ、人々が輪になって踊るのが特徴です。300年以上の歴史がある太子踊りは県の重要無形民俗文化財にも指定され、吉田太子踊保存会により踊り継がれています。当日は、神岡町内だけでなく古川方面からの地域交流バスを運行します。ぜひ浴衣を着てご参加ください!

■日時 7月24日(金) 19:30～21:30(予定)

※雨天決行

■場所 吉田常蓮寺



問 神岡振興事務所 地域振興課 ☎0578-82-2253

後期高齢者医療制度における「資格確認書」または「資格情報のお知らせ」の一斉送付

7月中旬頃に後期高齢者医療「資格確認書」または「資格情報のお知らせ」を送付します。

《資格情報のお知らせイメージ》

《資格確認書イメージ》

対象者	送付物
85歳以上	資格確認書(薄緑色)
84歳以下 マイナ保険証 登録あり	資格情報のお知らせ (マイナ保険証で受診)
84歳以下 マイナ保険証 登録なし	資格確認書(薄緑色)

送付物は上記の表のとおりです。

※8月1日現在の年齢で判断をします

有効期限を過ぎた資格確認書(薄紫色)を処分されるときは、住所や氏名が判別できないよう細断するなど、十分にご注意ください。

問 市民保険課 ☎0577-73-7464

【飛騨市国民健康保険】7月中に資格確認書・資格情報のお知らせ、保険料決定通知を送付します

■「資格確認書」「資格情報のお知らせ」

- ・マイナ保険証を保有されている方

「資格情報のお知らせ」を送付します。医療機関受診の際には、マイナ保険証をご利用ください。

※70歳未満の方で、すでに「資格情報のお知らせ」をお持ちの方へは、新たに交付しませんので、お手元の「資格情報のお知らせ」を大切に保管してください

- ・マイナ保険証を保有されていない方

「資格確認書」を送付します。「資格確認書」を医療機関等で提示すれば、マイナ保険証をお持ちでなくても医療を受けることができます。

■保険料決定通知

世帯主の方へ保険料決定通知を送付します。令和8年度の保険料額や納付方法、国民健康保険加入者について記載されていますので、必ずご確認ください。口座振替の方は納期限までに残高のご確認を、納付書の方は納期限までに金融機関やコンビニエンスストア等での納付をお願いします。

■すでに別の保険に加入しているのに、通知に名前が記載されている場合

国民健康保険の喪失手続きが必要です。新しい保険に加入した日が分かる書類を用意し、本庁舎市民保険課・各振興事務所の窓口、もしくは右コードから手続きを行ってください。



手続きフォーム

問 市民保険課 ☎ 0577-73-7464

献血バス（7月）

「献血で 誰かに届く あなたの勇気」を標語に掲げ、献血の一層の推進を図ります。

輸血に使用する血液は、人工的に造ることができず、長期保存することもできません。

病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、ぜひ献血にご協力ください。

日 時	場 所
7月27日（月） 12:00～13:00	（株）喜多村古川工場（古川町畦畑280）
7月29日（水） 9:30～11:30	ハートピア古川※

※400ml献血限定会場です

問 保健センター

☎ 0577-73-2948

屋外活動時にマダニ対策を

西日本に多かったSFTS（重症熱性血小板減少症候群）が、岐阜県内でも発生しました。SFTSは、春から秋にかけて活動が活発になるマダニが媒介する感染症です。マダニは山林や里山、草むらや藪、落ち葉の積もった場所にいます。正しい対策をして、安全に屋外活動を行いましょう。

■SFTSの原因と症状

マダニに刺されることで感染し、1～2週間で発熱、全身倦怠感、嘔吐、下痢などの症状が現れ、重症化すると出血しやすくなり、命に関わることもあります。ワクチンや特効薬は今のところありません。刺されないことが一番の対策です。

■対策

- ①熱中症に気を付けながら、長袖、長ズボン、帽子を着用するなど、肌の露出を避ける
- ②虫よけ対策としてディート・イカリジンなどの成分を含む虫除け剤を使用
- ③帰宅後は衣類をすぐに洗濯、すぐにシャワーを浴びる
- ④脱衣時に足、わき、耳、首のまわり、髪の毛の中を調べる
- ⑤ダニに刺されていたら無理に引き抜かず、医療機関に相談
- ⑥ペットの犬・猫がダニに刺されていないか確認する

問 保健センター

☎ 0577-73-2948

公園でなつやすみキッズプール！

大好評の公園での水遊びイベントを、今年も開催します！ 今年はお子さん向けに、浅くて安心な「幼児用プール」をさらに充実させました。優しく水が飛び出す噴水や、楽しい水遊び道具など、プールデビューにぴったりのエリアが充実しています。もちろん、お兄ちゃん・お姉ちゃん向けの楽しいスライダープールも登場！ 親子や友達と、お水で思いっきり遊びましょう！（入場無料）

- 開 放 日 杉崎公園：8月1日(土)～8月5日(水) 5日間
(すぎさきわくわく広場)
坂巻公園：8月8日(土)～8月12日(水) 5日間
- 時 間 10:00～15:00(雨天中止)
- 対 象 小学校3年生以下(保護者同伴)



問 建設課 ☎ 0577-73-3936

固定資産税第2期分の納期限は7月31日(金)です

納入忘れがないようご注意ください。納税通知書の記載事項を必ずご確認ください。

■口座振替の場合

納期限前日までに残高の確認をお願いします。

■納付書の場合

納付書に記載の金融機関、コンビニ、スマートフォン決済アプリ等で納付してください。

納付書の再発行が必要な場合は、税務課または各振興事務所までご連絡ください。

問 税務課

☎ 0577-73-3742

海上自衛隊舞鶴音楽隊コンサート入場者募集

飛騨市文化交流センター開館20周年を記念して、自衛隊音楽隊による無料コンサートを開催します。北陸・東海・近畿・中国地方に渡る広い範囲で活動している海上自衛隊舞鶴音楽隊が登場します。(入場無料)

- 日 時 9月5日(土) 13:00開場 13:30開演
- 場 所 飛騨市文化交流センター
- 応募要領

無料入場券のお申し込み方法は、往復ハガキとオンライン申込があります。応募多数の場合は抽選となります。

※未就学児不可(往復ハガキ、オンライン申込ともに1枚(1回)で2人分までお申し込みすることができます。)

①往復ハガキによる申込

市販の往復ハガキに右記のように記入してご投函ください。

②オンラインによる申込

右下コードからお申し込みください。

■申込期限 8月3日(月) 必着

同一氏名による複数申込は無効です。

応募された方には、8月中旬頃に抽選結果をお知らせする予定です。



往信表面・返信裏面

〒509-4221	飛騨市古川町 若宮2丁目1番63号 飛騨市文化交流センター 自衛隊音楽隊 係	※返信面の裏面には 何も記入しないで 投函してください。
往信用		

返信表面・往信裏面

申込者の郵便番号	飛騨市古川町本町2番22号	①古川町本町2番22号 飛騨 太郎 731-2111
返信用	飛騨 太郎	②古川町本町2番22号 飛騨 花子 731-2111
(見本)		

問 飛騨市文化交流センター ☎ 0577-73-0180

申込フォーム



『久保貞次郎コレクション展』関連イベント ～テンペラ画を描いてみよう！～

テンペラ画は、ルネッサンス期のイタリアの宗教画で多く用いられた技法です。金箔を貼ったはがきサイズのパネルに玉子を溶いた絵の具で好きなものを書いてみましょう。

- 講 師 高城ちひろ氏(画家)
- 日 時 8月2日(土)
10:00～16:00
- 会 場 古川郷土民芸会館
工房
- 対 象 どなたでも(小学4
年生以下は保護者同伴)
- 定 員 15名
- 参 加 費 500円
- 持 ち 物 エプロン、昼食、水筒、描きたいものの画像
- 申込方法 チラシの申込書をFAXまたは窓口持参。
右コードからも申込可能。



問 飛騨市美術館 ☎ 0577-73-3288

申込フォーム

『久保貞次郎コレクション展』関連イベント ～シルクスクリーンで蔵書票をつくろう！～

シルクスクリーンの技法を学び、好きな図柄を描いて多色刷りのすてきな蔵書票をつくりましょう。あなたの本も一段グレードアップすること間違いなし！

- 講 師 笠嶋暢子氏(金沢湯涌創作の森シルクスクリーン工房講師)
- 日 時
①下絵づくり 7月25日(土)13:30～16:00
②版刷り《Aコース》8月22日(土)13:30～16:00
《Bコース》8月23日(日)9:30～12:00
- 会 場 古川郷土民芸会館 工房
- 対 象 どなたでも(小学4年生
以下は保護者同伴)
- 定 員 10名(各コース5名ずつ)
- 参 加 費 500円
- 持 ち 物 筆記用具、描きたいもの
- 申込方法 チラシの申込書をFAXまたは窓口持参。
右コードからも申込可能。



問 飛騨市美術館 ☎ 0577-73-3288

申込フォーム

飛騨市美術館 企画展覧会

「栃木県真岡市所蔵 久保コレクション 没後30年 久保貞次郎とは何者だったのか？」

栃木県足利市出身の久保貞次郎は、真岡市の久保家へ婿入り後、瑛九との出会いを機に美術の道へ進みました。彼は子どもの自由な表現を認める「創造美育運動」や、一般の人に美術購入を勧める「小コレクター運動」を展開し、美術と社会をつなぎました。

没後、真岡市に寄贈された1,500点以上の「久保貞次郎コレクション」には版画が多く含まれ、日本の戦後版画史を概観できるものです。彼の人生そのものであるコレクションを4章構成で展示する本展は、北川民次や池田満寿夫らの名作を通じて、久保の足跡と人物像に迫る貴重な機会です。

- 期 間 7月18日(土)～8月30日(日)
- 会 場 飛騨市美術館 第一展示室、第二展示室
- 開館時間 9:00～17:00(最終入館16:30)
※8月12日(水)は13:00に閉館します
- 休 館 日 月曜日(7月20日は開館、21日は休館)
- 入 館 料 一般200円(20名以上の団体料金160円)/ 高校生以下無料
※各障がい者手帳ご提示で100円
※7月19日(日)、8月16日(日)は無料(家族ミュージアムの日)



作品：瑛九《顔B》1954年



久保貞次郎 氏

問 飛騨市美術館 ☎ 0577-73-3288

令和8年度造形美術教室 ～いのちの輝きを造形に～

美術表現の基礎を楽しく学ぶ講座です。立体表現でも平面表現でも自由を選ぶことができます。

- 講 師 中垣克久氏(飛騨市美術館名誉館長・彫刻家)
宮江里美氏(現代美術家)
- 日 時 8月8日(土)～11日(火・祝)
10:00～16:30
- 会 場 古川郷土民芸
会館 工房
- 対 象 高校生以上
- 定 員 15名
- 参加費 3000円
- 持ち物 スケッチブック
45ℓビニール袋2枚・軍手他
- 申込方法 チラシの申込書をFAXまたは窓口持参
右コードからも申込可能



問 飛騨市美術館 ☎0577-73-3288

申込フォーム

町並みガイドブック『飛騨古川タウントレイル 3～「そうば」と町並みを読み解く』販売中

今作のテーマは、飛騨古川の町並み景観の美しさを支える住民気質「そうば」。個性を尊重しながらも全体を調和させる、この町に根付いた「思いやりの心」を軸に、町並みの真髄を紐解きました。

技術解説に留まらない、人々の想いや暮らしの物語が詰まった一冊です。

本書を手にも、飛騨古川の新たな魅力を再発見する街歩きへ出かけませんか？



■価 格
500円(税込)

■販売場所
飛騨の匠文化館(木曜定休)

問 飛騨の匠文化館 ☎0577-73-3321

第9回荒垣秀雄顕彰作文コンクール

荒垣秀雄氏は神岡町出身で、昭和21年から約18年にわたり朝日新聞のコラム「天声人語」を執筆するなど世論に大きな影響を与えました。荒垣氏を顕彰した作文を募集中です。詳しくは募集要項をご覧ください。

■テーマ
「私らしさ」

- 部門
 - ①小学生(5・6年)の部
 - ②中・高校生の部
 - ③一般の部

■応募方法
応募票に各項目を記入の上、作品に添えて飛騨市図書館へ郵送・持ち込み、または応募フォームから作品データを送付
※応募票や募集要項は生涯学習課、各振興事務所、図書館、市ホームページより入手可能

■募集締切
9月4日(金)必着



問 飛騨市図書館 ☎0577-73-5600

詳細ページ

市民後見人養成研修 参加者募集

認知症、知的障害、その他の精神上の障害により判断能力が不十分な方の権利を守る「成年後見制度」は、少子高齢化の進行や人間関係の希薄化といった社会状況の変化を背景に、近年そのニーズが一層高まっています。県では、地域において身近な支援者となる「市民後見人」の育成に取り組んでおり、養成研修を実施しています。

- 開催時期 9月～12月
- 開催方法 オンライン研修6日間
会場研修3日間
現地研修1日間(岐阜市近郊)
- 費 用 無料(テキスト代やオンライン・実習にかかる交通費等の費用は受講者負担)
- 申込方法 総合福祉課へ
- 申込期限 7月31日(金)



問 総合福祉課 ☎0577-73-7483

詳細ページ

夏休みの図書館イベント

詳細は図書館ホームページを確認ください。

- ・上映会
大人向け 7月24日(金)18:00 ~
子ども向け 7月26日(日)15:00 ~
戦争童話 8月15日(土)12:00 ~
- ・作文教室「ぶんつく」 ※要申込
大人向け 8月1日(土)14:00 ~
子ども向け 8月2日(日)
- ・図書館ミステリーツアー
8月5日(水) ※要申込
- ・ボードゲームイベント
8月16日(日)10:00 ~
8月23日(日)14:00 ~



詳細ページ

問 飛騨市図書館 ☎ 0577-73-5600

街なかポケットミュージアム 「ポケット泉原昭人展」

泉原昭人さんは、飛騨市出身の映像作家です。版画家である溝上幾久子さんと共同で制作された異世界感あふれる作品のイラスト等を展示します。昨年に開催した「泉原昭人展：スタジオマンゴスチンの世界」のリバイバル展示となります。(入館無料)

■期間

令和9年2月28日(日)まで
※休館：木曜日と年末年始

■場所

街なかポケットミュージアム(飛騨市古川さくら物産館 1階 蔵ホール内)

■時間

6月～11月 10:00～16:30
12月～2月 10:00～16:00

問 文化振興課

☎ 0577-73-7496

図書館 においてよ 新着図書ピックアップ

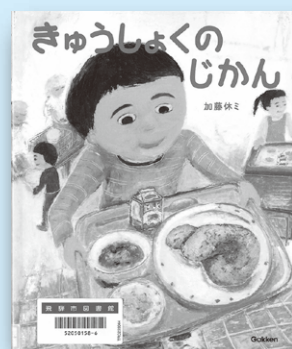
大人向けのオススメ



『寄り道の科学 カビの本』
李憲俊、李新一/著
日刊工業新聞社

湿度が高い日本で暮らしていく上で無視できない存在「カビ」。カビとはどんなものなのか、生活の中のカビ対策方法などがまとまった一冊です。

子ども向けのオススメ



『きゅうしょくのじかん』
加藤休ミ/作・絵
Gakken

小学校1年生の給食を描いたおはなし。カレーやあげパン、他の国の料理などとても懐かしくて食べたくなりました。

問 飛騨市図書館 ☎ 0577-73-5600 🌐 <https://hida-lib.jp>

農地利用状況調査

農業委員会では、農地の違反転用の早期発見や遊休農地の実態などを把握するため、10月末まで現地調査を行います。

この調査は農地法で定められており、これにより農地が適正に利用されているか、あるいは草刈りなどがされていないため遊休化・山林化しているかを確認します。

農業委員および農地利用最適化推進委員が現地を訪れたときは調査にご協力をお願いします。



問 農業委員会事務局

☎ 0577-62-9393



飛騨警察署からのお知らせ

岐阜県内でも被害が相次いでいる特殊詐欺。令和7年度は全体の約60%が携帯電話・スマートフォンに架かってきた電話に出たことをきっかけに始まっています。

警察庁推奨アプリには、不審な番号からの着信をブロックや警告する機能があります。

対策アプリで国際電話や不審な番号をブロックしましょう！



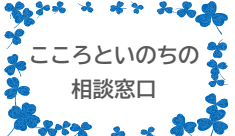
問 飛騨警察署

☎ 0577-73-0110



詳細ページ

相談コーナー				
相談名・相談内容	実施日	時間	場所	問い合わせ
もの忘れ相談 ・もの忘れや認知症の相談 ・受診や介護の相談など 脳体力測定「コグエボ」 ・タブレットを使用した脳トレ ・生活の工夫をアドバイス カフェ ・認知症カフェ、脳トレカフェなど 認知症サポーター養成講座	【要予約】 【利用無料】 月曜日～ 金曜日	9:00～ 15:00	オレンジの森 古川町新栄町11-5ソタビル2階 (1階にコインランドリー、駐車場あり)	オレンジの森 ☎090-1408-1017(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください
	【要予約】 【利用無料】 月曜日・火曜日 水曜日・金曜日	9:00～ 15:00	オレンジ相談なないろ 神岡町殿789-4 旧工藤医院 (駐車場あり)	オレンジ相談なないろ ☎080-7095-6575(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください
こころの相談室【要予約】 (精神保健福祉士によるこころの相談)	8/6(木)	13:30～ 15:30	ハートピア古川	保健センター ☎0577-73-2948
若者就労相談【要予約】 (若者を対象とした就労相談)	8/5(水)、19(水)、 26(水)	13:00～ 16:00	古川町コミュニティセンター	岐阜県若者サポートステーション ☎0577-35-4772
ビジネスサポート相談【要予約】 (売上拡大、経営改善など経営上の相談)	8/13(木)、14(金) 24(月)、25(火)	10:00～ 17:00	古川町商工会	古川町商工会 ☎0577-73-2624
	インターネットでの相談も対応しています。詳しくは直接お問い合わせください。		神岡商工会議所	神岡商工会議所 ☎0578-82-1130
ハローワーク出張相談【予約不要】 (職業相談、シルバー人材入会説明)	8/25(火)	11:00～ 15:00	古川町コミュニティセンター	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
	8/3(月)	13:00～ 15:00	神岡商工会議所	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
消費生活相談員による無料相談 (専門の消費生活相談員による消費生活相談)	8/5(水)	10:00～ 15:00	飛騨市役所	総務課 ☎0577-73-7461



相談窓口情報を悩み別に検索できるサイトです。
電話でのご相談も受け付けています。

こころといのちの相談窓口

こころの健康相談統一ダイヤル ☎0570-064-556



市営住宅入居者の募集

公営住宅	諏訪田団地A棟	諏訪田団地A棟	新栄町団地	サンアルプ旭E棟	サンアルプ旭G棟	森茂住宅	宮川団地
種類	特公賃	特公賃	特公賃	公営	公営	特定	特公賃
募集戸数	(単身用) 1戸	(世帯用) 1戸	(単身用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(単身用) 4戸	(世帯用) 1戸
所在地	古川町杉崎	古川町杉崎	古川町新栄町	神岡町殿	神岡町殿	神岡町森茂	宮川町林
構造・規模	R C造5階建	R C造5階建	S造3階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建
間取り	1DK	2LDK	1K	2DK	2DK	1K	2LDK
家賃	入居者の所得に応じて決定						
	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	共益費別途	共益費別途

■敷金 家賃の3カ月分 ■申込期間 7月24日(金)～7月31日(金) ■入居予定日 9月1日(火)

※RC造…鉄筋コンクリート造 S造…鉄骨造

- ・入居資格について、所得等の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください
- ・申込書は、本人または同居予定者の方が建築住宅課または各振興事務所まで直接ご提出ください

問 建築住宅課 ☎0577-73-0153 (古川・河合・宮川) 神岡振興事務所 建設農林課 基盤係 ☎0578-82-2254 (神岡)



点字版・音声版をご希望の方は、県秘書広報課へご連絡ください。音声版には、CD（デジ編集）での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

PICKUP

参加しよう！
豊かな緑を
次世代に！

第10回「山の日」記念全国大会 岐阜 in 飛騨高山

「木の国 山の国」の恵みを活かし、未来へつなぐ

岐阜の山や自然の恵みに感謝することはもちろん、山が抱える課題を解決することも私たちの大きな役目です。育った木を使い、山に手を入れることで、温暖化対策や災害対策にもつながります。山を知ることが、豊かな自然を次世代へつなぐ力となります。「岐阜の山に感謝し、その未来をともに考え、行動に移す」そんな一助となる大会を目指して開催します。

■問／県自然環境課 ☎058(272)8227



主な行事

記念式典

※事前申し込み

日時 8月11日(水) 9:30～11:30

会場 高山市民文化会館 大ホール

内容 地元高校生、林業経営者・従事者、有識者らが山の諸課題への対策を提言するとともに、合唱や地域の伝統芸能が披露されます。どなたでもご参加いただけます。



▲福井大会の様子

各行事の詳細、申し込み、
関連イベント情報等は
こちら



大会HP

歓迎
フェスティバル

日時 8月11日(水) 10:00～17:00

会場 高山市民文化会館 講堂、高山駅西交流広場

内容 ヒノキ丸太伐りなどの林業体験やお笑いライブ、キッチンカーが楽しめるほか、スタンプラリーや抽選会も行います。



関連イベント 県内各地でトレイルウォーク、山岳観光、森林空間活用イベントなど、山に関わるイベントを開催

TOPICS

01 「県民文化の森」わくわくプロジェクトを開催します

図書館・美術館で、読書や文化・芸術に触れていただけるよう、親子で楽しめるイベントを開催します。期間中は図書館の水路での水遊び、館内でのイベントやワークショップ、飲食の販売などを実施します。

- 開催期間／令和8年7月25日(土)～8月23日(日)
- 場所／県図書館・県美術館
- 入場料／無料
- 問／県文化創造課 ☎058(272)8245



02 「GIAHS鮎の日」イベントを開催します

「清流長良川の鮎」が平成27年に世界農業遺産に認定されたことを記念して、7月の第4日曜日を「GIAHS鮎の日」として制定しています。「GIAHS鮎の日」では、「清流長良川あゆパーク」をメイン会場として鮎つかみどり大会など、清流や鮎に親しむイベントを開催します。



- 開催日時／7月26日(日) 10:00～16:00
- 場所／清流長良川あゆパークほか(郡上市白鳥町長滝420-10ほか)
- 入場料／無料(一部イベントは有料)
- 問／県里川・水産振興課 ☎058(272)8455



03 「夏休み こども議場見学会」の参加者を募集します

県議会では、議場見学や議員との交流を通じて県議会を身近に感じていただき、県議会のしくみや役割を楽しく学ぶことを目的に「夏休みこども議場見学会」を開催します。ぜひご参加ください！



- 開催期間／
8月6日(木) ①10:00～12:00
②13:30～15:30
8月18日(火) ③10:00～12:00
- 場所／県議会棟(岐阜市)
- 対象者／18歳未満の子どもたち
※小学生以下の参加は保護者同伴
- 定員／各回子ども50名
- 参加費／無料
- 問／県議会議務局総務課 ☎058(272)8717



「サマージャンボプレミアム」、「サマージャンボ宝くじ」と「サマージャンボミニ」が発売中

「サマージャンボプレミアム」、「サマージャンボ宝くじ」と「サマージャンボミニ」が、7月31日(金)まで全国で3種類同時発売中です。宝くじはぜひ県内売り場か、宝くじ公式サイトでご購入ください。

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

○新登場のサマージャンボプレミアムは、1等・前後賞合わせて12億円！

- | | | |
|---------|-------|----|
| 1等 | 8億円 × | 4本 |
| 1等の前後賞各 | 2億円 × | 8本 |
| 2等 | 1億円 × | 8本 |
- ※当せん本数は発売総額200億円・4ユニットの場合

○サマージャンボ宝くじは、1等・前後賞合わせて7億円！

- | | | |
|---------|-------|-----|
| 1等 | 5億円 × | 20本 |
| 1等の前後賞各 | 1億円 × | 40本 |
- ※当せん本数は発売総額600億円・20ユニットの場合

○サマージャンボミニは、1等・前後賞合わせて5,000万円！

- | | | |
|---------|-----------|------|
| 1等 | 3,000万円 × | 60本 |
| 1等の前後賞各 | 1,000万円 × | 120本 |
- ※当せん本数は発売総額180億円・6ユニットの場合

サマージャンボプレミアム12億円
(1等8億円・前後賞各2億円合わせて)

サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

サマージャンボミニ5千万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

プレミアム：1枚 500円
ジャンボ・ミニ：1枚 300円

6月30日(火) 3種類同時発売!

発売期間 6/30(火)～7/31(金)

公益財団法人 岐阜県市町村振興協会

問 財政課 ☎ 0577-62-8903



3月21日に研修企画部主催の研修会が行われました。約70名が参加し、飛騨市だけでなく高山市や下呂市、遠方では恵那市からも参加がありました。今回は、その時の研修内容をお伝えします。



飛騨市防災士会と講師お2人

今回の研修に至ったきっかけは、防災士の中に能登へのボランティアに行ったことがある方が多数いたことからでした。その経験をみんなで共有したいという思いからスタートしています。

そのボランティア参加で出会った、輪島市で活躍されている細川貴子さんや山路健造さんにもお声がけし、貴重な話をお聞きました。

第1部は講演会。実際の写真やデータを用いて今現在までにおける災害支援やサポートについてお話ししていただきました。特にリアルな介護施設での災害支援の話が心に残

り、今後飛騨市防災士会でも考えていかなくはならないと感じさせられました。

第2部は飛騨市の防災士をはじめとした災害ボランティア経験者

のパネルディスカッションでした。

今回の研修を通して、今後災害ボランティアに積極的に参加したいという声が多くあがり、市民の災害への意識がさらに高まった時間になりました。

ボランティアとしてではなくても、災害が起こった地域へ行ってみるだけでも価値はあります。ぜひ、ご家族でも防災について話題にしてみてくださいね。



ワイワイと活気にあふれていました

こんにちは 市民病院です

健康診断・人間ドックで
元気な毎日を

高齢化が著しく、また、都市部と比べて病院や治療の選択肢が限られている飛騨市では、病気の予防や早期発見に努めることが、自身の健康を守るうえで非常に重要です。

飛騨市民病院は大規模な病院ではありませんが、健康診断に必要な最先端の機器を備えています。地域の皆さんの「健康づくりの拠点」として、健康診断・人間ドックをご案内します。

当院の内視鏡検査システムは話題の人工知能(AI)を搭載しており、医

師の目とAIの補助によるダブルチェックを行っています。これにより見落としのリスクが軽減され、異常の早期発見に繋がっています。また、内視鏡スコープ自体が非常に細い経鼻内視鏡は検査の負担が軽いと多くの方から好評をいただいています。スタッフ間の連携も常に見直し、よりスムーズで安心できる検査の実施に努めています。

MRIは従前の機種より短時間で高精細な画像が得られる最新機器に3年前に更新しています。これを機に、自覚症状がほとんどなく、通常の健康診断では見つかりにくい膵臓がんの早期発見に特化した膵臓・胆道ドックを昨年度より開始し、多くの方の利用がありました。

画像は医療ICT(情報通信技術)を活用し、外部の放射線科専門医にも読影を依頼しています。当院の経験豊富な消化器内科医とのダブル

チェックも行い、超音波検査や採血結果と併せて異常の早期発見が可能な体制を整えています。

そのほか、脳ドックではオプションとして脳の萎縮を解析・数値化する認知症ドックも実施しています。また今後も、皆様の健康に役立つ健診オプションを追加していく予定です。

このように当院は、病気の早期発見においては都市部の病院に劣らない体制を整えています。ご自身の健康を守るために、ぜひ健康診断・人間ドックのご利用をご検討ください。



問 飛騨市民病院
☎ 0578-82-1150



そろそろ 終活

<その76> はじめませんか？

気をつけたい暦年贈与

人生の終盤を迎えるにあたり「財産を子どもたちにどう遺すか」という課題は、多くの人が悩むことです。

特に、生前に財産を分け与える「生前贈与」と、亡くなったあとに遺産を分ける「相続」には、それぞれ異なる税金が発生するため、しっかりと理解しておくことが大切です。どちらを選ぶべきかは、家族構成や家庭事情、将来の計画によって異なります。

今回は『暦年贈与』についてお伝えします。

暦年贈与とは、知っている人も多いと思いますが、贈与税の基礎控除である年間110万円を活用して、毎年行う贈与のことです。

しかし、これを認めてもらうには、毎年金品の受渡しをするたびに、贈与をする側と受ける側の間で、贈与契約を結ぶ必要があることをご存じでしょうか。

きちんとした契約をせずに行ってしまうと、税務署から定期贈与や名義預金などとみられ、想定していなかった課税をされるおそれがあります。暦年贈与を行う場合には、贈与契約書を作成しましょう。重要なのは贈与がなされたという事実の裏づけのために契約書の作成が望ましいということです。

そして贈与を受けた人に、財産が移転したと言えるようにしておくことも必要です。その記録を残しておくためにも、贈与する人の口座か

ら、受ける人の口座へは振り込みで贈与することが望ましいでしょう。

軽はずみな受渡しは、後々後悔に繋がることもありますから、しっかりとした確認の元に、失敗のない相続にしていきたいものです。



～7月の終活セミナー～
大切な財産を引き継ぐために
7月29日(水) 13:30～15:00
ハートピア古川
お申し込みは下記まで

問 飛騨市終活支援センター
(飛騨市社会福祉協議会内)
☎ 0577-73-3214

2026年6月30日現在

ご結婚

細江 泰輔
森本 琴子古川町式之町
古川町朝開町

お誕生

【古川町】
大坪 いち花 杉崎 司・千景
田中 春奈 杉崎 誠・侑子
大森 遥輝 上町 弘幸・芽瑠萌
倉坪 莉茉 是重 晋吾・杏菜
松永 純弥 大野町 杏哉・紗和子

【宮川町】
中澤 音 打保 泰一・菜々実

【神岡町】
細田 輝空 館野町 輝充・美保
有馬 琥大 東雲 進之輔・美友起

お悔み

【古川町】
柚原 二子 袈裟丸 (97)
大河原 久好 若宮二丁目 (84)
新名 一代 朝開町 (82)
布勢 稲二郎 上気多 (70)
野村 みや子 袈裟丸 (98)
空 吉治 下気多 (91)
古田 しげ 数河 (94)
元田 百合子 殿町 (94)
尾崎 眞希子 黒内 (77)
加藤 和子 向町三丁目 (96)

【河合町】
平瀬 隆吉 角川 (95)

【宮川町】
野村 茂子 西忍 (84)

【神岡町】
西浦 由美子 江馬町(江馬3) (88)
山下 珠恵 東雲 (62)
葡萄原 きよ子 船津(新富1) (95)
米澤 勇 船津(堀川1) (87)

ご寄附

【ウクライナ人道危機救援金】
味処古川協会 様(古川町) 金1万5千円

【令和6年9月能登半島大雨災害義援金】
味処古川協会 様(古川町) 金2万5千円

【飛騨市子育て支援事業へ】
ヒミスケ 代表 氷見 大輔 様(古川町) 金5千円

【棚田と板倉の里活性化事業へ】
岐阜県信用農業協同組合連合会 様(岐阜市) 金50万円

【飛騨市民病院へ】
匿名(神岡町) 金50万円
河上 哲也 様(神岡町) 金100万円
内田 正二 様(神岡町) 金10万円

【映像制作活用プロジェクトへ】
三井金属エンジニアリング株式会社 様(東京都) 企業名のみ公表

【一般寄附】
新名 章 様(古川町) 金10万円

【飛騨市がんばれ応援寄附金(ふるさと納税)】
全国の方からたくさんのご寄附をいただきました
2026年6月分 1,765件 金4,450万円

人口の動き
(7月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
10,207	10,827	21,034	8,829
出生 12	転入 47		
死亡 30	転出 45		
高齢化率 40.83%			

町別人口内訳

古川町	13,100
河合町	748
宮川町	502
神岡町	6,684

消防の状況
(6月30日現在)

本年累計	火災	救急
飛騨市	3	571
その他 (管外出動)	0	0
前月比	0	+77

交通事故の状況
(6月30日現在)

	人身交通事故			物損 交通事故
	件数	死者	傷者	
本年累計	5	0	5	219
去年同期	9	0	12	298
増減	-4	0	-7	-79

都竹市長とふれあいトークを8/2(日)に開催します

テーマは、「がん」になっても社会とのつながりや仕事をあきらめないまちへ

■日時 8月2日(日) 13:30 ~ 15:30

■会場 飛騨市役所 西庁舎 3階 大会議室



詳細ページ

少年の主張大会

日常生活の中で感じる想いや考えを熱く語る

6月21日（日）に古川町コミュニティセンターで開催され、市内各校から選ばれた中学生7人、小学生8人が登壇しました。

それぞれ日常生活の中で感じる想いや考えを自分自身の言葉で表現しました。

県大会飛騨地区選考会には、井端結衣さんと磐佐柑那さんが進みます。

また、古中生3人に進行役をお願いしたほか、「ひだふるかわ音楽の森合唱団」「ひだソーノ合唱団」の皆さんが合唱を披露し、子どもたちが活躍しました。



中学生の部 発表者

- 井端結衣さん 『弱さも認め合える社会を』
- 磐佐柑那さん 『灯火をつなぐ』
- 磐佐心那さん 『何気ない日々にもこそ価値がある』
- 沖田陽向さん 『SNS を使いこなせ！』
- 田立心さん 『向かい風を追い風に』
- 森下天音さん 『見えない空気』
- 山平煌莉さん 『「普通」って何？』

小学生の部 発表者

- 穴田璃子さん 『友だちとの関わりについて』
- 岩佐拓磨さん 『食のバリアフリーを実現したい』
- 大下花さん 『宮川小での私』
- 川端泰芯さん 『自分らしさ』
- 清水小梅さん 『わたしのともだち』
- 清水心晴さん 『山之村の誇り～私たちが愛する「きつねつり」～』
- 中貝理瑚さん 『元気な生活は、ひいばあちゃんから学ぶ』
- 水川直太郎さん 『牛飼いにになりたい』



7月は
「青少年の被害・非行防止全国強調月間」です

スローガン
「青少年 地域で守ろう 育てよう」
「なくそう非行 地域で育む青少年」

変化の激しい時代の中でも将来を担っていく子どもたちの健やかな成長のため、地域で一体となって子どもを守り、青少年の健全育成と非行防止に取り組みましょう。

問 生涯学習課 ☎0577-73-7495

市ホームページから
当日の様子を
ご覧いただけます。





6/1 古川小の児童らが広葉樹の鉢キットで野菜づくりに挑戦！

(株)イバタインテリアの協力で制作された鉢キットを使い、古川小学校の1、2年生が植物の栽培に挑戦することになり、鉢の組み立てを行いました。1年生はアサガオ観察、2年生はトマト栽培に挑戦します。



6/2 飛騨市神岡図書館が移転から10周年を迎えました

飛騨市神岡図書館が旧神岡町図書館(神岡町船津地内)から移転して今年で10周年を迎えたことを記念し、6月を10周年記念月間としてさまざまな展示やイベントを開催しました。



6/5 河合、宮川両園で「こどもの日」祝い朴葉ずしづくりを行いました

河合保育園と宮川保育園が、1カ月遅れの旧暦で端午の節句を祝う飛騨地域の伝統にちなみ、3歳以上の園児らを対象に郷土料理である「朴葉ずし」を作る体験を行いました。



6/1 飛騨市が「美食都市アワード2026」を受賞しました

(一社)美食都市研究会が主催する今年度の「美食都市アワード」の受賞都市の1つに飛騨市が選出され、地元の生産者や飲食店、商工関係者などを招いた受賞式典が開催されました。



6/2 古川西小学校の5年生が田植え体験をしました

古川西小学校の5年生児童が毎年総合的な学習の時間の一環で取り組んでいる「米づくり」体験が始まり、古川町中野の農事組合法人「みのりの里」の皆さんの指導で田植え体験が行われました。



6/5 県博物館学芸員が神岡中1年生を対象に化石特別講座

神岡中学校の1年生43名を対象とした化石の出前講座が開かれました。生徒らは、隕石や恐竜の卵のレプリカ、ワニの骨標本などを観察しながら、岐阜県博物館の高津翔平学芸員の話に耳を傾けました。



6/11 宮川下流漁協が 「河川環境調査」を行いました

ダムからの放水量抑制が河川環境におよぼす影響を調べるため、宮川下流漁協は宮川町巣之内、打保、塩屋、加賀沢で河川の流量や水質、生息する魚類などの調査を行いました。



6/12 宮川小学校の児童が 稚アユの放流を体験しました

宮川町の宝であるアユにふれながら、地域の皆さんとのつながりを学んだり自分たちにできることを考えてもらおうと、宮川小学校の児童を対象に稚アユの放流体験が行われました。



6/12 吉城高華道部が認知症啓発に向け キバナコスモス種まき会を実施

吉城高校華道部の生徒らが、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせる「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加し、キバナコスモスの種まき会を行いました。



6/14 古川町第3区が独自の 「防災訓練」を実施しました

飛騨市総合防災訓練の一環として、市の防災モデル地区に指定されている古川町第3区が、家族ぐるみで参加しやすく、分かりやすい情報提供などを目的に独自の工夫を凝らした防災訓練を実施しました。



6/15 「第54回消防救助技術東海地区指導会」選手選考会が行われました

救助隊員に必要な技術や体力、気力の向上を目的として救助技術を競い合う「第54回消防救助技術東海地区指導会」に出場する消防隊員の選考会を飛騨市消防本部が実施しました。



6/15 飛騨市出身の映像作家・泉原さんの リバイバル展を開催

「ベルリン国際映画祭」など国内外で高く評価されている飛騨市出身の映像作家・泉原昭人さん(東京都・62)のリバイバル展が、古川町の街なかポケットミュージアムで始まりました。来年2月28日まで。



6/15 農業の初心者を対象にした
農業講習会が始まりました

農家の高齢化や若者の農業離れにともなう担い手不足、耕作放棄などによる地域資源の未活用といった課題解決に向け、広く農業人材を育成しようと初心者向け農業講習会が開催されました。



6/16 市内にある公共施設の在り方を見直す部会を発足しました

市内に900以上ある公共施設のうち、特に維持修繕や将来の大規模改修に多額の費用がかかる20施設について、施設廃止も含めた今後の方向性などを検討する「飛騨市公共施設在り方検討部会」が発足しました。



6/20 大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」が
9年ぶりに一般公開されました

神岡鉱山の地下200mにある大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」の実験施設が9年ぶりに一般公開されました。市民をはじめ全国から200人が参加し、内部を徒歩で見学しながら研究者の話に耳を傾けました。



6/21 「市長杯ゴルフ大会」に市内外から
40人が参加しました

飛騨数河カントリークラブの主催で、飛騨市長杯ゴルフ大会が開催され、市内外から40名が参加しました。大会結果は【優勝】岩見哲洋さん(中央)【2位】二山真二さん(右)【3位】守田直人さん(左)でした。



6/21 宮川から海の未来をつなぐ
「清流レスキューミッション」を開催

川から海へと流れ込む海洋プラスチックを抑制するため宮川下流域で河川の清掃活動が行われ、地域住民とヒダスケ参加者ら36人が参加。プラスチックや金属、可燃物など約40キロを回収しました。



6/24 古川中1年生がゲーム「風水害24」で
防災を学びました

災害時を想定したシミュレーションゲーム「風水害24」を体験しながら防災の知識や技能を学ぶ授業が古川中学校1年生を対象に行われ、生徒らは楽しみながら防災に関する実践的な学びを得ました。

飛騨市文化交流センターが開館20周年を迎えました!



市民の皆さんと歩み続けた20年

一流アーティストによる公演から市民活動の発表の場などこれまで延べ94万人に親しまれてきました!



6月7日に飛騨市文化交流センター開館20周年記念式典・記念公演を開催!

高円宮久子妃殿下にご臨席を賜り、お成りの際には沿道で約150名の市民の皆さんが歓迎をしました。

式典では、満席の会場の中、妃殿下からのおことばや岐阜県知事をはじめご来賓の皆さんからお祝いの言葉をいただきました。式典の後は日本最大の雅楽団体である東京楽所による記念公演を開催しました。

ハワイエでは、古川町時代の音楽のまちづくりに始まる文化交流センターの歩みをパネル展示。

妃殿下にも過去2度のお成りの思い出を振り返りながらご観覧いただきました。開館20周年の喜びを市民の皆さんと分かち合いました。



記念式典
オープニング映像



記念イベントをピックアップ! これからも皆さんと一緒に歩みを重ねていきます!

7/25

名古屋フィルハーモニー交響楽団
演奏会
指揮 小泉和裕



9/22

タレガ・ギターカルテット
クラシックギターコンサート
「24弦の響き」



そのほかたくさんの記念イベントを開催します。
皆さんの交流センターでの思い出も募集中!

詳細は右コードより
ご確認ください。



詳細ページ